

今後の修繕の考え方

ホールの修繕にあたり、特定天井の改修や社会環境変化への対応を加味するとともに、コスト削減・工期短縮・品質確保を図るため、CM委託（コンストラクションマネジメント委託）を行った。これにより、建物劣化状況及び施設休館の要否を踏まえ、総事業費の削減にも配慮した、大規模修繕内容及び経費の概要を明らかにした。

1 修繕の考え方

(1) 緊急性の高い修繕

施設の運営に必要な緊急性の高い修繕については、大規模修繕工事前の4か年で計画的に実施することとする。ただし、修繕の緊急度については変更が生じる可能性があることから、定期的に工事時期の見直しを行っていく予定である。

(2) 大規模修繕

特定天井改修工事に伴い、1年半程度の休館を行う必要があることから、緊急性の高い修繕以外は大規模修繕工事において対応する。

【CM委託で提案された修繕計画（概要） 令和2年3月31日時点】

主な工事内容	(1) 緊急性の高い修繕				(2) 大規模修繕
	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8～9年度
外装工事		・屋上防水工事（一部）		・屋上防水工事（一部）	・外装材補修・更新
内装工事	・練習室防音工事	・昇降機制御リニューアル（一部）			・特定天井改修 ・各階WC更新 ・昇降機制御リニューアル
各種設備工事	・消防設備更新（一部） ・空調配管設備更新（一部）	・消防設備更新（一部） ・舞台照明設備更新（一部） ・舞台音響設備更新（一部）	・舞台照明設備更新（一部）	・自動制御設備更新（一部）	・受変電設備更新 ・防犯警備設備更新 ・消防設備更新 ・給水機器設備更新 ・舞台床機構設備更新 ・舞台照明設備更新 ・舞台音響設備更新 ・LED器具への更新
経費	22百万円	580百万円	246百万円	145百万円	4,132百万円
小計	993百万円				4,132百万円
合計	5,125百万円 (うち、ホール天井落下防止関連工事費 2,369百万円)				

消費税は含まない。

設計費、音響設計費は含まない。

パイプオルガンのメンテナンスに要する費用は別途検討することとしている。

2 今後の課題（財源の確保）

修繕に当たり、ふるさと納税を活用した寄付金の受入れやチャリティコンサートの実施、PFI の導入などによる民間活力の活用を検討し、財源の確保を図っていく。